

港北区寄り添い型学習支援事業プロポーザル 質問書に対する回答

項目番号	分類	質問事項	回答
1	提案書作成	要領2~9について枚数、ページ制限はありますか。	各様式それぞれ片面1枚でお願いします。ページ内であれば枠の大きさは調整可能とします。
2	提案書作成	「所定の書式（要綱様式－2～9）に基づき作成する」と記載があるが、各様式1ページ以内という理解でよいか。その場合片面1ページの認識で相違ないか。また、ページ内であれば枠の大きさの調整は可能という認識で間違いないか。	
3	提案書作成	所定の様式は規定のページ数の中に収める認識でよろしいでしょうか。それともページの枠を増やすことは可能でしょうか。	
4	事業内容	高校生の参加人数の上限（定員）はございますか。	高校生世代の参加人数の上限はありません。
5	事業内容	受け入れ人数は最大60人なのか、また火曜と木曜両方とも参加できるのか教えてください。	各会場ごとに30名定員です。 火曜・木曜の両方とも参加が可能です。
6	事業内容	生徒2名に対し1名※参加者の状態等により、増減可とあります。これは、中学生支援も生徒3~4名に対して1名の支援スタッフも可、をさせていますか。「参加者の状態」として想定されていることをお示しください。	支援スタッフの人員体制の考え方については『港北区寄り添い型学習支援事業委託仕様書 6 (2) エ』のとおりです。運営にあたっての人員配置については『（要領－5）業務実施体制について』で提案をお願いします。
7	事業内容	仕様書6(5)ア(カ)にある「定期的な面談による支援」について、年間の実施回数の目安をご教示ください。	学習支援開始時の面談は必ず実施していますが、定期的な面談による支援については実施回数の目安等は特に定めておりません。
8	事業内容	保護者との面談場所はどこで実施されていますか（会場、家庭訪問、その他）。	各会場で実施しています。
9	事業内容	補助者が現場に入る場合、支援スタッフ扱いとなりますでしょうか。	補助者として現場に入る場合は補助者扱いになります。支援スタッフとして勤務する場合は支援スタッフ扱いとなります。
10	プログラムについて	高校生世代の年4回で人気のあったプログラムをお示しください。	令和6年度に開催された高校生世代向けのプログラム ①家計すごろく（生活費について体感する講座） ②自分の将来についてみんなで考えよう！ ③自分の身を守るためにネットリテラシー講座 ④進路サポートセミナー
11	プログラムについて	過去に実施されたプログラムの内容（テーマ、連携先、実施場所等）をご教示ください。	開催場所は港北区社会福祉協議会 多目的研修室及び団体交流室です。最も出席者が多かったのは②です。
12	プログラムについて	仕様書6(5)イ(イ)の「年4回程度実施」について、過去3年間の実際の実施回数と参加人数をご教示ください。	実施回数等については別紙参照
13	プログラムについて	高校生世代を対象とした体験機会の提供について、直近過去3か年の実績やプログラム内容をご教示下さい。	
14	履行場所及び履行日時	各開設場所には備品等の保管場所・設備はありますでしょうか。ある場合は広さ・容量もご教示下さい。	テキスト等を収納するスペースは各会場にあります。現在は高田地域ケアプラザ会場は幅90cm・高さ60cm・奥行38cm、港北区社会福祉協議会会場では幅90cm・高さ105cm・奥行45cmのスペースを使用しています。港北区社会福祉協議会においては、利用団体が多い場合には抽選となる可能性があります。
15	履行場所及び履行日時	事業で使用するテキスト等を収納するスペースはありますか？また収納することは可能ですか？	
16	履行場所及び履行日時	中学生、高校生世代は同一会場で実施しますか。また、その場合は、部屋は別々でしょうか。	同一会場での実施を想定しています、必要に応じて部屋を別にすることも可能です。
17	履行場所及び履行日時	令和8年度の年間の総実施回数の見込みをお示しください	『港北区寄り添い型学習支援事業委託仕様書 4 (3)』のとおりです。
18	履行場所及び履行日時	仕様書4(3)エに基づき、「開設日等を増やす」対応を行った実績はありますか。 ある場合、その具体的な内容をご教示ください。	夏季講習等の開催により、開設日等を増やした事例があります。
19	履行場所及び履行日時	天災等で休校となる場合、振り返り日の設定は可能でしょうか。年間実施日数に合わせる形でよろしいでしょうか。	『港北区寄り添い型学習支援事業委託仕様書 4 (3)オ』のとおりです。 振り替え日の設定は可能ですが、事前確保した会場以外の場合は会場の確保を行うための調整が必要となります。
20	家庭訪問	必要に応じて家庭訪問を実施とあります。令和5、6、7年度の家庭訪問の実施件数（延べ回数、実人数）をお示しください。	実施件数は0件です。
21	家庭訪問	家庭訪問の実施頻度（年間平均回数）と主な実施理由をご教示ください。	
22	家庭訪問	直近3か年での家庭訪問の実績について、回数や家庭訪問された理由等をご教授ください。	

23	教育機関との連携について	仕様書6(5)ア(キ)にある「中学校等の関係する教育機関との積極的な連携」について、具体的な事例（頻度・内容・形態等）をご教示ください。	現在は区役所を通して随時必要に応じて連絡等を行っています。学習支援事業での出来事・内容などを中学校等と共有し、学習支援に活かしています。  別紙参照
24	教育機関との連携について	学校との情報共有はどのような方法で実施されていますか（定期会議・随時連絡等）。	
25	教育機関との連携について	直近3年間において、教育機関と連携した実例をご教授ください。	
26	過去の実績について	2021年度、2025年度の延べ開催数、登録者数、参加者数を会場ごと、中学生、高校生を分けてお示しください。	
27	過去の実績について	昨年の参加人数について教えてください。	
28	過去の実績について	過去3年間における各会場の登録者数の推移をご教示ください。	
29	過去の実績について	過去3年間における各会場の平均出席率（参加率）をご教示ください。	
30	過去の実績について	過去3年間における高校生等の登録者数と実際の参加状況（出席率）をご教示ください。	
31	過去の実績について	高校中退防止の取組（週1回以上の居場所支援）の平均参加人数をご教示ください。	
32	過去の実績について	2024年度と2025年度の延べ講師配置数を会場ごと、中学生、高校生を分けてお示しください。	
33	過去の実績について	直近3年間の出席数・出席率・登録人数をご教示ください。	
34	過去の実績について	年間の実施回数の近年の実績をご教示ください。実施規定数があればあわせてご教示ください。	実施規定数については仕様書以外の定めはありません。 実績については別紙参照。
35	その他	2021年度～2025年度の成果と課題（事業費が下がったこと）について、応えられる範囲でお示しください。	成果としては、2021年度～2024年度の学習支援事業登録者のうち100%が高校進学をしています。2024年度は中3生13名が全員高校進学を果たしました。生徒との進路面談を実施し、家庭の事情も把握しながら、進路に向けた書類提出等の適切な助言をしたこと、全員進学できた要因であったと考えています。登録している高校生世代については、退学者が出ていません。
36	その他	現在の本案件における課題や改善すべき点などがあればご教示ください。	課題としては、利用生徒数の通年の確保が挙げられます。不参加が続いている生徒への参加勧奨や定着率の向上を図るとともに、学習支援を必要とする子どもを見逃さず、タイムリーな情報提供ができるよう、こども家庭支援課、学校及び地域のこども若者支援団体等との連携が必要です。
37	その他	現受託事業者名をお示しください。	株式会社キズキです。
38	その他	2023年度、2024年度の予定事業費（契約金額）と支払額（実績）をお示しください。	2023年度 契約金額15,031,126円 支払金額13,271,101円 2024年度 契約金額15,523,948円 支払金額13,878,098円
39	その他	請求金額の契約時に確定する総価契約ですか、単価契約の場合は請求額の計算根拠についてご教示下さい。	現在は概算契約です。支援スタッフの報酬と旅費についてのみ実績に基づいて請求してもらっています。
40	その他	請求書の発行（毎月または全工程完了時等）や、支払時期（月払、完了時一括払等）についてご教示下さい。	現在は四半期ごとに請求書を受理し支払いを行っています。

## 別紙

## 過去の利用実績

## 令和3年度

対象者	年間延べ登録生徒数	年間延べ出席生徒数	年間延べ実施回数	出席率（※参考数値）
中学生	29	794	105	35.5
高校生世代	13	98	45	24.9

## 令和4年度

対象者	年間延べ登録生徒数	年間延べ出席生徒数	年間延べ実施回数	出席率（※参考数値）
中学生	21	702	96	38.3
高校生世代	6	159	45	71.6

## 令和5年度

対象者	年間延べ登録生徒数	年間延べ出席生徒数	年間延べ実施回数	出席率（※参考数値）
中学生	33	629	89	29.1
高校生世代	10	77	42	18.3

## 令和6年度

対象者	年間延べ登録生徒数	年間延べ出席生徒数	年間延べ実施回数	出席率（※参考数値）
中学生	27	611	85	29.3
高校生世代	16	86	38	18.4

## 令和7年度（11月末時点）

対象者	年間延べ登録生徒数	年間延べ出席生徒数	年間延べ実施回数	出席率（※参考数値）
中学生	20	226	57	24.4
高校生世代	17	81	26	18.4

※集計データの性質により中学生については社会福祉協議会会場と高田地域ケアプラザ会場の合計となります。

※出席率は下記の式により算出しておりますが、月の利用回数が生徒により異なるなど

生徒個人の事情等により利用形態が異なるため、参考数値としてお考えください。

計算式：各月の延べ出席者数 ÷ (月末の登録者数 × 月内の実施回数) × 100 の年間平均

## 講師の年間延べ配置数

## 令和6年度

	中学生		高校生世代
	社会福祉協議会会場	高田地域ケアプラザ会場	
講師数	287	214	66

## 令和7年度（6月末時点）

	中学生		高校生世代
	社会福祉協議会会場	高田地域ケアプラザ会場	
講師数	29	45	22

## 高校生世代を対象としたプログラム

	令和4年	令和5年	令和6年
実施回数	3	3	4
延べ参加人数	10	6	16